

第2回傾聴ボランティア養成講座

日本における自殺死亡者数は平成10年以降3万人を超えており、近年においても減少傾向が見られず社会問題にもなっています。

本市ではこのような現状を踏まえ、自殺対策への一つのアプローチとして「傾聴ボランティア」の養成講座を開催します。

傾聴ボランティアは、共通の社会経験を持ってカウンセリング技術の基本を学んだ方が、その技術で相手の嘆きや悩みを「きちんと聴く」ことによって、相手の心の不安を軽減したり、その人なりの判断や納得を促したりします。このことは自殺対策にも有効と考えられています。

地域での自殺対策推進のためにもぜひご参加ください。

● **目的** 傾聴の技術の習得および傾聴ボランティアへの参加

● **日時** 平成23年1月13日・20日
・27日(いずれも木曜日)
午後1時～5時

※参加者は3日間すべて受講していただきます。

● **場所** 大田原市総合文化会館
2階 第2会議室

● **講師** 特定非営利活動法人
ホールファミリーケア協会

理事長 鈴木 絹英 氏

● **参加費** 無料

● **募集人員** 30名

● **申込方法** 平成23年1月5日(水)までに、健康政策課まで直接または電話・FAXでお申し込みください。定員になり次第締切ります。

■ **申し込み・問い合わせ**
健康政策課健康政策係

TEL (23) 8704
FAX (23) 7632

大田原市福祉タクシー事業者登録のお知らせ

福祉タクシーは身体障害者福祉サービス事業の一環で、利用券を使用することで基本料金(初乗分)が無料となるサービスです。

このたび、次の業者が登録となりましたのでお知らせします。

● **事業者名**

ウエルフェアアジアパン株式会社

● **事業者住所**

那須塩原市沓掛600

● **連絡先** 0287(65)9001

● **登録日** 平成22年10月12日

■ **問い合わせ**

福祉課福祉支援係

TEL (23) 8921

「脳脊髄液減少症」について

交通事故をはじめ、転倒やスポーツ外傷、体に衝撃を受けたことなどが原因で脊髄硬膜から脳脊髄液が漏

れ、脳脊髄液が減少してしまう病気です。

脳脊髄液が減少することで、大脳や小脳はそれとともに下がってしまい、脳と頭蓋骨をつないでいる神経や血管が引っ張られて脳の機能が低下するために、神経系の症状、激しい頭痛や首の痛み、めまい、倦怠感などさまざまな症状を引き起こす病気とされています。

脳脊髄液減少症は医療機関のみならず、教育の現場や一般社会での認知度が低く、病気のつらさに加え、周りの理解が得られないなど苦しい思いをされている方もあります。

現在この病気については、国の研究班において、統一的な診断基準の確立と有効な治療法の研究が行われている段階であり、診断や治療方法が確立されていないことから、診療を行うことができる医療機関に関する情報を得ることが困難な状況にあります。

栃木県では県内医療機関の協力のもと、「脳脊髄液減少症」の診療に関する調査を行い、その結果について大田原市および栃木県のホームページで公表していますのでご確認ください。

● **栃木県ホームページ**

<http://www.pref.tochigi.jp/welfare/ryou/ippan/>

119122336302.html

● **大田原市ホームページ**

<http://www.city.ohatawara.tochigi.jp/>

7610524.html

■ **問い合わせ**

健康政策課健康政策係

TEL (23) 8704

とちぎ協働フォーラム in 那須野が原開催

誰もが高齢期を豊かに暮らせる地域づくりを多くの方々と共に考え、実践するためのフォーラムを開催します。

● **主催**

とちぎボランティアNPOセンター

● **日時** 12月12日(日)

午前10時～午後3時

● **場所** 国際医療福祉大学
E棟204

● **テーマ** 高齢期を豊かに暮らす地域づくり～安心生活のために私たちができること～

● **内容**

・第1部 パネルディスカッション
・昼食 交流会
・第2部 ワークショップ・私たちができること

● **対象** 関心のある方

● **定員** 120名

● **申し込み** とちぎボランティアNPOセンターまで電話で申し込み(当日参加も若干名可)

● **申し込み・問い合わせ**

とちぎボランティアNPOセンター

TEL 0288(623)3455